

本市における中学校部活動地域移行に関する現状と課題

部活動改革の趣旨

国

- 学校部活動の地域連携や地域移行は、**将来にわたり生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保**するために重要であること。
- 地域クラブ活動は、地域の運営団体・実施主体が行うことになる一方、生徒の望ましい成長のため、学校との連携が重要であること。
- 生徒のスポーツ・文化芸術環境をめぐる**状況は、地域によって異なるため**、運営団体・実施主体の在り方をはじめ、地域クラブ活動の整備方法等は、**地域の実情に応じた多様な方法**があることや、**学校部活動の地域連携から取り組む**など段階的な体制整備を進めることが考えられること。

国の方向性の変更点

- 令和5年度から令和7年度までを「改革集中期間」として3年間で中学校の部活動を地域へ移行するとしていた計画を、令和5年度から令和7年度までの3年間で「改革推進期間」と位置付け、**国として地域移行の完了時期は設定せず**、早期に地域への移行を目指すこととされた。
- これまで、**地域移行のみとしていた休日の部活動の形態について**、**地域連携も含め部活動として実施しつつ**、**地域人材の活用（部活動指導員、外部指導者の配置等）により**、**休日の部活動に教員が従事しなくてよい環境を構築しながら**地域への移行を推進していくことも可能となった。

基本方針

県

- 休日に活動をしている部活動について**、**地域連携・地域移行の取組**を推進する。ただし、地域移行については、地域において生徒の活動機会が確保できる部活動から行うものとする。
- 平日の活動については、基本的に教員・部活動指導員・外部指導者の指導の下、学校の部活動としての活動の機会を確保する。
- 単純に休日に活動する部活動を地域での活動に移行することだけでなく、これまで中学校等を中心に維持してきた中学生がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる休日の環境を、**学校教育関係者と地域の関係者が連携して学校または地域に構築していくことにより**、**生徒が活動や経験を通じて学ぶことができる機会を持続可能なものとしていくことを目的として**推進していく。
- 鳥取県における部活動改革は、「地域移行型」を基本とするが、**直ちに地域での活動への移行が困難な場合は**、**学校や地域の状況に応じて**、「地域連携型」、「**拠点校（合同部活動）型**」により、生徒の活動の機会を確保しながら、「地域移行」への取組を推進する。
- 休日の活動を直ちに地域へ活動の場を移行することが困難な場合は、地域での活動となるまでの間は、学校の部活動を存続して生徒の活動機会を確保する。ただし、その場合、部活動指導員・外部指導者の配置や合同部活動などの取組を通して**休日の部活動指導を望まない教員が部活動指導に従事しなくてもよい環境の構築に努める。**

地域移行・地域連携のモデル

【地域移行型】

休日の学校部活動を廃止し、生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ環境を、学校を含めた地域に構築し、社会スポーツ・文化芸術活動として実施するものである。運営主体は学校と切り離されたものとなるため、**指導者への謝金は運営主体の自己財源での対応**となる。

【地域連携型】

学校部活動に地域（外部）の指導者を配置して教員が携わらなくてもよい環境を構築するものである。指導者は、**部活動指導員や外部指導者となり**、**指導者への報酬や謝金は、配置する市町村が負担し、県も一部補助する。**

【拠点校型（合同部活動）型】

指導できる教員や外部指導者がいる部活動を拠点校として位置付け、**拠点校以外で指導者がいない部の生徒や部がない生徒が拠点校で活動を行うもので、部活動として実施するものである。****指導者（部活動顧問）への謝金は、部活動特別勤務手当となる。**

令和5年度

本市

- 生徒・保護者対象のアンケート実施
- モデル競技の実施（軟式野球）
 - ※米子野球協会とともに地域クラブ「米子クラブ」の実施（地域移行型）
 - ※中学校軟式野球部に部活動指導員の配置（地域連携型）
- 「米子市版部活動の在り方協議会」の開催
- 鳥取県中体連や各種競技団体との意見交換

課題

- 実施主体
- 指導者確保
- 受益者負担
- 移動
- 大会運営・引率 等

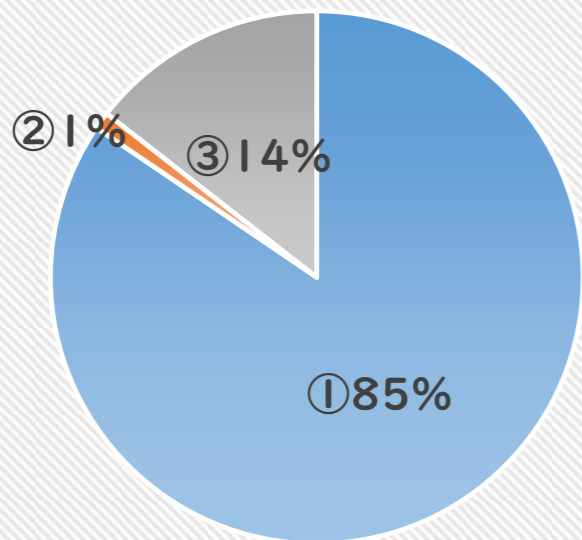
今後の方向性

- 「地域移行型」・「地域連携型」・「拠点校型」を織り交ぜながら、推進していく。
 - ・「地域移行型」
勝利至上主義にならない、あくまで健全育成を主眼とする団体を、学校部活動と同等の活動をする団体として認可する。
 - ・「地域連携・拠点校型」
複数の学校を1つのチームとして活動する。地域の人材を活用し、部活動を学校と地域が協働しながら運営する。

鳥取県教育委員会・鳥取県中体連への働きかけ

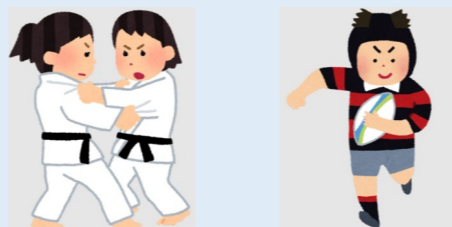
部活動の実態に関するアンケート(生徒向け:令和5年7月実施)

所属している部活動、地域クラブ等について



- ① 学校の部活動のみ所属している
- ② 中体連主催大会に参加する地域クラブ等のみ所属している
- ③ 学校の部活動と地域クラブ等に所属している

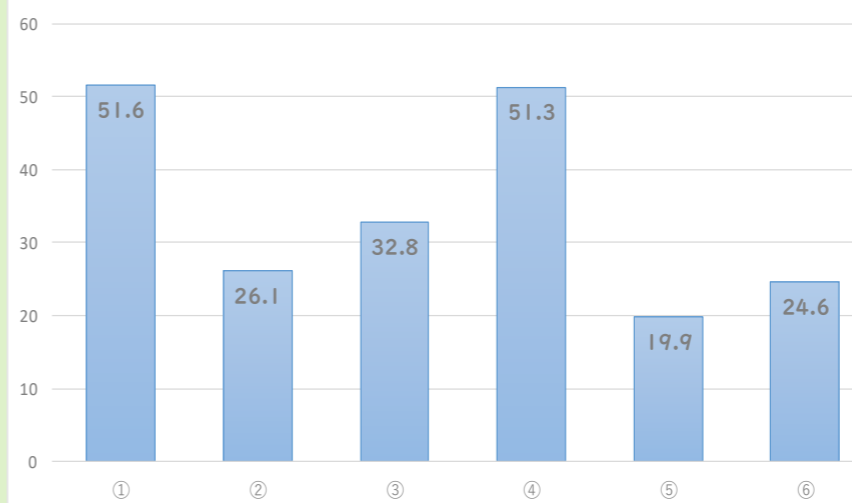
全体の15%(約330人)が学校の部活動以外の地域クラブ等で活動している



(地域クラブ等の種目)

- ・ソフトテニス ・テニス ・バドミントン ・バレーボール ・体操 ・サッカー
- ・軟式野球 ・硬式野球 ・バスケットボール ・ハンドボール ・剣道 ・水泳
- ・スキー ・アーチェリー ・ソフトボール ・ラグビー ・柔道 ・陸上 ・太鼓
- ・新体操 ・卓球

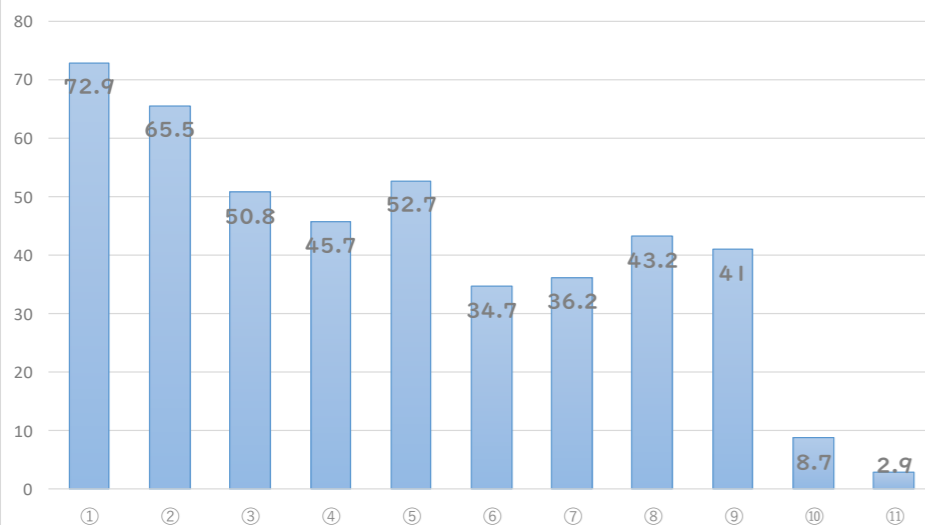
地域クラブ等に所属する理由は?(複数選択可)



【選択肢】

- ① 専門的な指導が受けられるから
- ② 他校の生徒と切磋琢磨できるから
- ③ 他校の生徒と人間関係が築けるから
- ④ 自分の目標にあった活動を選択できるから
- ⑤ やりたい競技・分野が学校の部活動にないから
- ⑥ その他

学校の部活動に所属して良かったことは?(複数選択可)



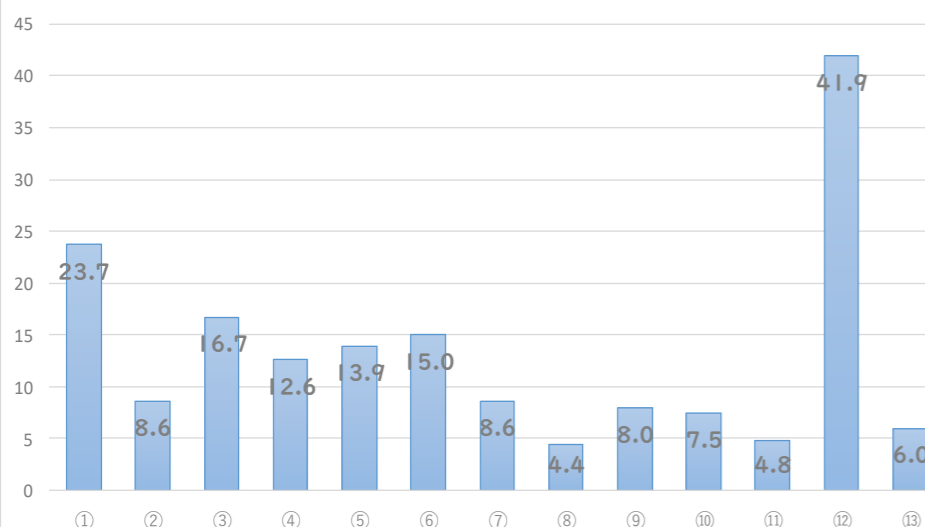
【選択肢】

- ① 活動が楽しい
- ② 友だちができた
- ③ 体力・忍耐力がついた
- ④ 努力することの大切さを知った
- ⑤ 勝つことや上手くなることの喜びを知った
- ⑥ 競技力が向上した
- ⑦ 協調性や規則・ルールを守る規律性が身についた
- ⑧ 礼儀や物を大切にできる気持ちになった
- ⑨ 授業ではできない体験や活動、研究を進めることができた
- ⑩ 特になし
- ⑪ その他

【その他の内容】

・クラブの方がうまくなると思うから ・小学校から続けていたから ・親に薦められたから ・高校への準備 ・友人に誘われたから ・夢を叶えるために必要だから ・プロ選手になりたいから ・好きだから **もっとやりたいと思ったから** ・きょうだいがかがしていたから 等

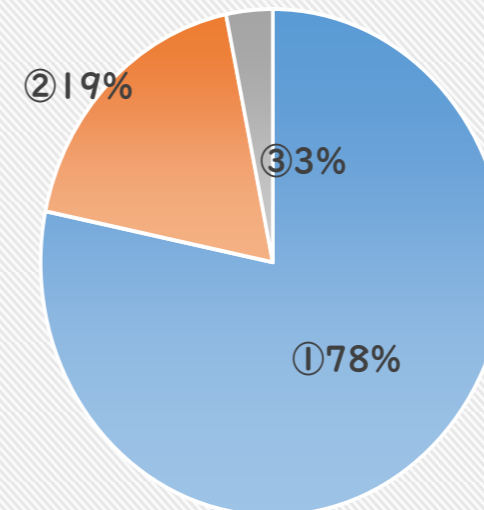
学校の部活動に所属して悩んだことや困ったことは?(複数選択可)



【選択肢】

- ① 他の部員との人間関係
- ② 指導者との人間関係
- ③ 学業との両立が難しい
- ④ 練習日数や時間が少ない
- ⑤ 練習日数や時間が長い
- ⑥ 活動場所が狭い
- ⑦ 専門的な指導が受けられない
- ⑧ 入部したい部活動がない
- ⑨ 一度入部したらやめにくい
- ⑩ 部活動で使用する学校備品、道具が足りない
- ⑪ 個人で使う道具の金銭的負担が多い
- ⑫ 特になし
- ⑬ その他

地域クラブ等で普段活動している場所まで移動する主な手段



【選択肢】

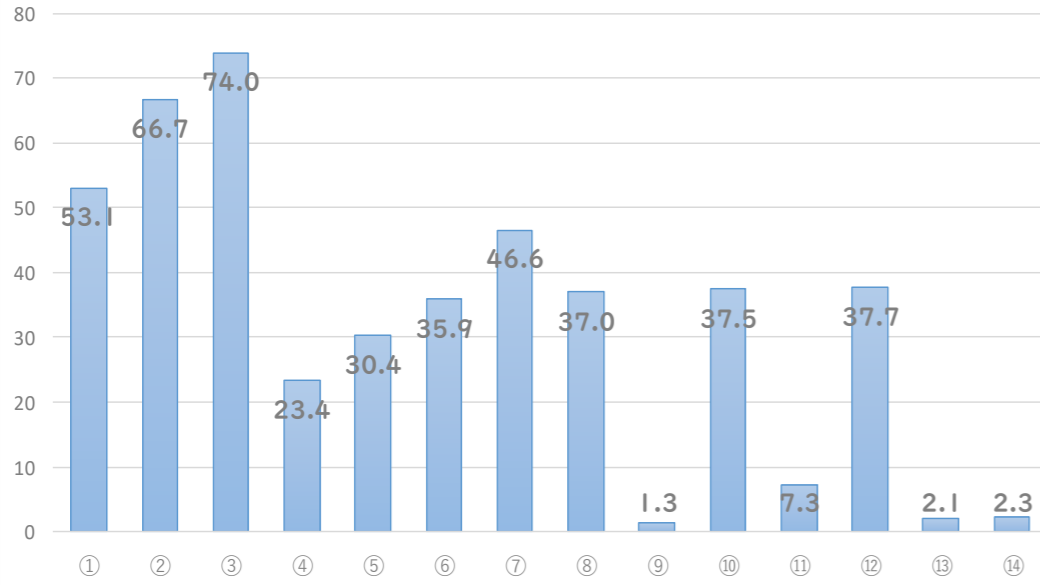
- ① 車(保護者の送迎)
- ② 自転車
- ③ その他(公共交通機関、徒歩、クラブ所有のバス)



生徒用アンケート:米子市(組合)立中学校1・2年生対象(回答数:2,199名)

部活動の実態に関するアンケート(保護者向け:令和5年7月実施)

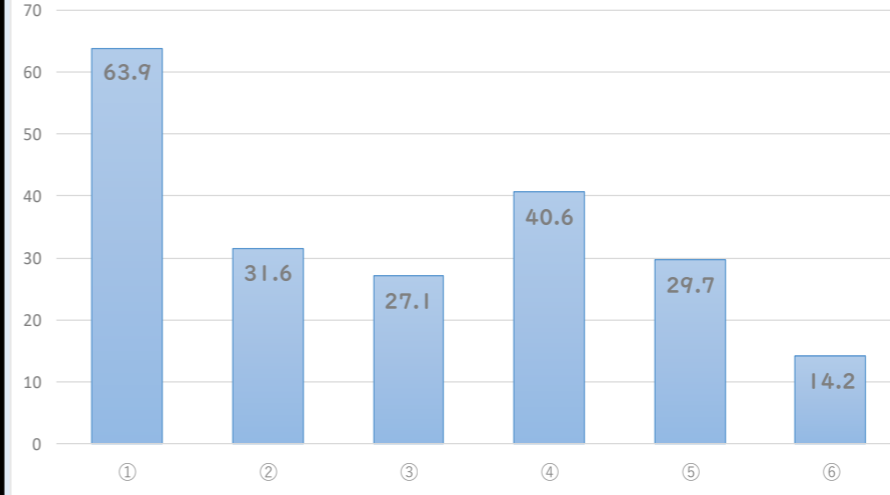
中学生にとっての部活動の「意義」は?(複数選択可)



【選択肢】

- ①体力や楽器の演奏技術を維持向上できる
- ②スポーツマンシップや団体行動が身につく
- ③クラスや学年を超えた友人ができる
- ④他校の生徒と活動し、お互いに理解し合うのに役立つ
- ⑤先生や指導者とお互いに理解し合うのに役立つ
- ⑥技術やルールの基本が身につく
- ⑦スポーツや音楽等、そのものを楽しめる
- ⑧勝つ喜びが味わえる
- ⑨将来プロになれる
- ⑩生活が楽しく豊かになる
- ⑪進学に役立つ
- ⑫厳しい練習等を通して精神的に強くなる
- ⑬特になし
- ⑭その他

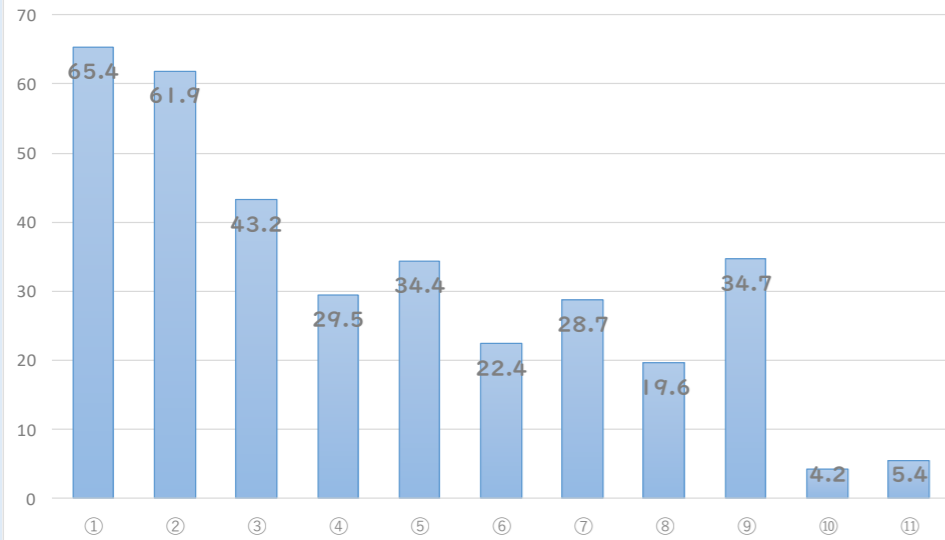
地域クラブ等に所属する理由は?(複数選択可)



【選択肢】

- ①専門的な指導が受けられるから
- ②他校の生徒と切磋琢磨できるから
- ③他校の生徒と人間関係が築けるから
- ④自分の目標にあった活動を選択できるから
- ⑤やりたい競技・分野が学校の部活動にないから
- ⑥その他

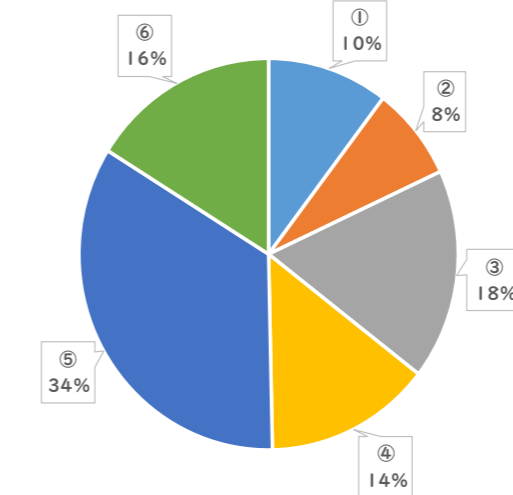
お子さんが学校の部活動に所属して良かったことは?(複数選択可)



【選択肢】

- ①活動が楽しい
- ②友だちができた
- ③体力・忍耐力がついた
- ④努力することの大切さを学べた
- ⑤勝つことや上手くなることの喜びを知った
- ⑥競技力が向上した
- ⑦協調性や規則・ルールを守る規律性が身についた
- ⑧礼儀や物を大切にすることが身についた
- ⑨授業ではできない体験や活動、研究を進めることができた
- ⑩特になし
- ⑪その他

所属する地域クラブ等の毎月の月謝は?

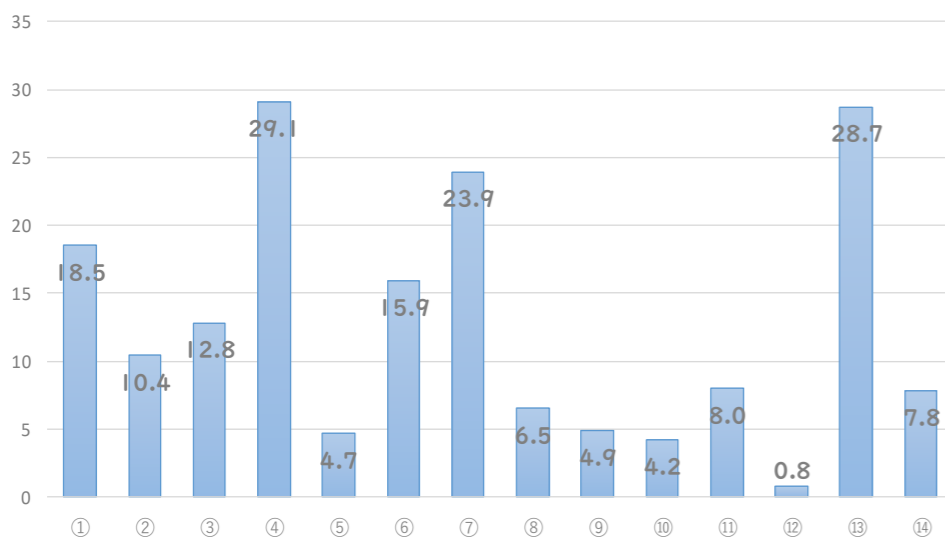


【選択肢】

- ①無料
- ②1,000円未満
- ③1,000円以上 3,000円未満
- ④3,000円以上 5,000円未満
- ⑤5,000円以上 10,000円未満
- ⑥10,000円以上

約半数が毎月5,000円以上の負担

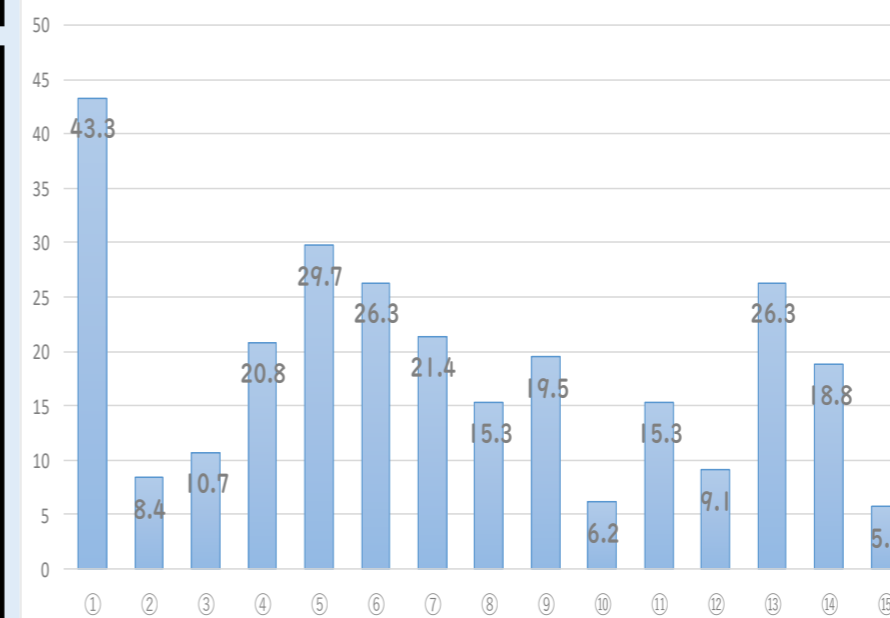
お子さんが学校の部活動に所属して課題に感じたことは?(複数選択可)



【選択肢】

- ①他の部員との人間関係
- ②指導者との人間関係
- ③学業との両立が難しい
- ④練習日数や時間が少ない
- ⑤練習日数や時間が長い
- ⑥活動場所が狭い
- ⑦専門的な指導が受けられない
- ⑧入部したい部活動がない
- ⑨一度入部したらやめにくい
- ⑩部活動で使用する学校備品、道具が足りない
- ⑪個人で使う道具の金銭的負担が多い
- ⑫保護者同士の人間関係
- ⑬特になし
- ⑭その他

学校の部活動が地域移行する際、心配することは?(複数選択可)



【選択肢】

- ①活動場所までの送迎の負担が増える
- ②生徒同士の人間関係
- ③他校の生徒との人間関係
- ④指導者との人間関係
- ⑤指導方法、方針(行き過ぎ指導など)
- ⑥責任の所在
- ⑦怪我やトラブル等への対応や保証
- ⑧指導者の質が担保されない
- ⑨担う地域の受け皿が存在しない
- ⑩希望する競技・分野の活動ができない
- ⑪学校教員とのコミュニケーションがなくなる
- ⑫学校教員ではなく地域の方が指導する
- ⑬金銭的負担が増える
- ⑭特になし
- ⑮その他